

兵庫県で採集した甲虫数種の記録

内藤 隆夫

筆者が兵庫県で採集した甲虫のうち興味深いと思われる幾つかの種について報告したい。

なお、以下の採集者はすべて筆者である。

1. *Nipponocerycon shibatai* M.Sato

モンケシガムシ

4exs., 篠山市篠山町小金ヶ嶽 7.III.2000

堆積した落ち葉の上にあったシカ糞から得た。

兵庫県では神戸市北区藍那から記録されている(高橋,1997a)。

2. *Syntelia histeroides* Lewis

エンナムシモドキ

1ex., 宍粟郡波賀町坂の谷 29.VI.1998

高橋(1991)によれば本種の兵庫県下での記録は、養父郡鉢高原および養父郡氷ノ山における2例しかないとされている。

ミズナラの伐採材に飛来した個体を採集した。

3. *Aphodius isaburoi* Nakane

チャグロマグソコガネ

8exs., 篠山市篠山町小金ヶ嶽 7.III.2000

高橋(1997b)には本種の兵庫県での記録はなく、県下初記録と思われる。

樹林内のシカ糞から得た。本種は冬季に個体数が多く、シカ糞を好むようである。

4. *Psammodius japonicus* (Harold)

ヤマトケシマグソコガネ

4exs., 美方郡浜坂町城山 15.IV.1999

砂浜に打ち上げられた海藻の下や海浜植物の根際の砂中より採集した。

5. *Phelopatrum scaphoides* (Marseul)

オオマルスナゴミムシダマシ

2exs., 美方郡浜坂町浜坂 15.IV.1999

本種は"Hiogo"が模式産地であるが、高橋(1989)では原記載以後の県下の記録がないとされている。

隣の京都府では丹後海岸、網野町から記録されている(塚本ほか,1993)。

海浜の砂中より抽出して得た。

6. *Caedius marinus* Marseul

マルチビゴミムシダマシ

1ex., 美方郡浜坂町浜坂 15.IV.1999

本種も"Hiogo"が模式産地である。高橋(1989)の報告以後、神戸市須磨浦海岸から記録された(沢田,1992)。

前種とともに砂中より得た。

7. *Micropedinus pallidipennis* Lewis

ヒメホソハマベゴミムシダマシ

12exs., 美方郡浜坂町城山 15.IV.1999

模式産地である"Kobe"のほか赤穂市天和、三原郡鹿野松原から記録されている(高橋,1989)。本種、前記種ともに京都府では記録されていないが(塚本ほか,1993)、少ない種ではないので恐らく同府下にも分布するであろう。

砂浜に打ち上げられた海藻の下から得た。また、本種とともにハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia ornata* が多数得られた。

8. *Metaclicia atrocyanea* (Lewis)

クロルリゴミムシダマシ

1ex., 宍粟郡波賀町坂の谷 29.VI.1998

ブナの朽木から得た。

兵庫県では扇の山で記録されているだけである(高橋,1993)。本種は奈良県春日山では極めて個体数が多いが、他府県での記録を調べてみるとブナ帯で少数が記録されているだけのことが多いようである。

9. *Tetratoma nobuchii* Nakane

キムネキノコムシダマシ

2exs., 宍粟郡波賀町赤西溪谷 6.XI.1999

ニガクリタケと思われるキノコのついたサクラの倒木から得た(キノコに来ていたものかどうかは分からないが)。本種は秋期に出現し、越冬後は初夏まで見られるようである(生川,1995)。

10. *Stolius vagepictus* Lewis

ヨツボシキバネナガクチキ

1ex., 宍粟郡波賀町赤西溪谷 6.XI.1999

藁のからんだミツバウツギをピーティングして得

た。何の蔓か確認しなかったが、生川(1995)によれば本種は晩秋にサルナシから得られるとされている。野外では一見小型のジョウカイのように見える。

11. *Terinaea atrofusca* Bates

クリイロチビケブカカミキリ

2exs., 養父郡関宮町福定 4.VII.1996

西日本では少ない種である。シナノキの枯れ枝から得た。

12. *Crioceris quatuordecimpunctata* (Scopoli)

ジュウシホシクビナガハムシ

22exs., 美方郡村岡町入江 23.VII.1999

栽培されたアスバラガスから得た。

著名な美麗種であり害虫としても知られるが、兵庫県下では城崎郡竹野町和田、美方郡浜坂町城山の2例の記録しかないとされている(高橋,1997c)。しかし、県中・南部でもアスバラガスを見つけることができれば採集は可能と思われる。

13. *Xanthoderopygus jocosus* Sharp

ハイマダラカギバラヒゲナガゾウムシ

2exs., 宍粟郡波

賀町赤西溪谷

10.X.1999

3exs., 同所

19.X.1999

高橋(1986,1987)には兵庫県における本種の記録は挙げられていない。ネンドタケとツヤウチワタケのついた広葉樹の落枝から得た。



赤西溪谷産 10. X. 1999

14. *Phloeobius stenus* Jordan

ササマルヒゲナガゾウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町坂の谷 30.VIII.1999

高橋(1986)により神戸市兵庫区烏原から記録されている。なお、この記録は同地からの *P. alternans* (Wiedemann) の記録(高橋,1983)の訂正である。

ブナ林内での採集中にピーティングネットにとまっていた個体を得た。林床のササで発生しているものと思われる。

15. *Xylinada striatifrons* (Jordan)

ナガフトヒゲナガゾウムシ

1ex., 宍粟郡波賀町坂の谷 8.VIII.1999

本種は一般に低標高地で採集されているが、この個体は氷ノ山の標高1,100mのブナ林で得たものである。灯火採集によって得られたもので、採集現場付近で発生しているのかどうかは今後確認の必要があろう。

末筆ながら、ハイマダラカギバラヒゲナガゾウムシの同定をお願いした妹尾俊男氏に厚く御礼申し上げます。

<参考文献>

- 生川展行(1995) 野登山(三重県亀山市)で採集した興味深い甲虫類 北九州の昆虫42(1): 61-66.
 沢田和宏(1992) 神戸市の冬の海岸で採集した甲虫 きべりはむし20(2): 48-49.
 高橋寿郎(1983) ミカンヒゲナガゾウムシ神戸市内に産す きべりはむし11(1): 24-25.
 — (1986) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ(1) 兵庫生物9(2): 111-114.
 — (1987) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ(2) 兵庫生物9(3): 153-156.
 — (1989) 兵庫県のゴミムシダマシ(2) 兵庫生物9(5): 292-294.
 — (1991) 兵庫県のエンマムシ きべりはむし19(1): 1-10.
 — (1993) 兵庫県のゴミムシダマシ(6) Crude(38): 22-23.
 — (1997a) 兵庫県産水棲甲虫目録(2) きべりはむし25(2): 23-30.
 — (1997b) 中国山地をめぐる地域のコガネムシ相 ホシザキグリーン財団研究報告1: 205-209.
 — (1997c) 兵庫県のハムシ(1) IRATSUME (21): 16-26.
 塚本珪一(1991) 京都の昆虫: 107 京都新聞社
 塚本ほか(1993) 京都府産ゴミムシダマシ科およびその近縁科甲虫目録: 1-14. 関西甲虫談話会資料No.6

(NAITO TAKAO 寝屋川市池田3-4-13)